6
ぽちゃまに
Pochamani
平間奏
Kanade Hirama
Presents

HANATOYUME COMICS
別冊花とゆめ

ぽちゃまに

6

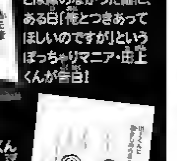
平間　要

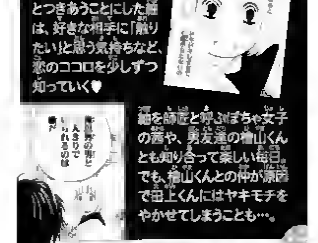
紹介

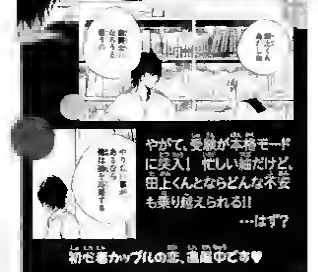
本橋 紬
高校3年生。ぼっちゃり3姉妹の長女で癒し系。手芸部。

あらすじ

ぼっちゃり体形で恋愛とは縁のなかった紬に、ある日「俺とつきあってほしいのですが」というぼっちゃりマニア・田上くんが告白!
つきあってほしいのですが!
俺と
田上 春


声優いつつも田上くんとつきあうことにした紬は、好きな相手に「触りたい」と思う気持ちなど、恋のココロを少しずつ知っていく♥


細身な体型と可愛いぽっちゃり女子の茜や、男友達の檜山くんとも知り合って楽しい毎日。
でも、檜山くんとの仲が原因で田上くんにはヤキモチをやかせてしまうことも…。
檜山 春
俺の隣で人生の春をいちばん謳歌しているのは俺だ!!


やがて、受験が本格モードに突入! 忙しい紬だけど、田上くんとならどんな不安も乗り越えられる!!
…はず?
初々しカップルの恋、温泉中で♥

ぽちゃまに 人物

木原誠司

田上の同級生で幼馴染。田上の扱いに長けている。

田上幸也

ぽっちゃりマニアな高校2年生。ざんねん系イケメンと言われている。弓道部。

田上茉莉也

田上の姉。医者を目指す大学生。剣道が趣味で、怒ると弟に竹刀を向けることも。

捨山 薇

高校3年生。幸と同じ美化委員。バイク乗りでコワモテ系だが、トンっ子で正直な一面も。

ぽちゃまに 6

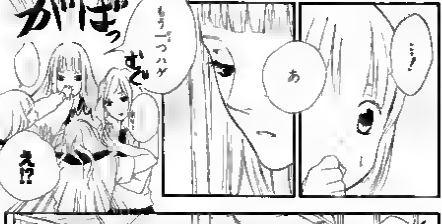
第31話 …… 5
第32話 …… 41
第33話 …… 79
第34話 …… 117
第35話 …… 153

この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件などにはいっさい関係ありません。

ぽちゃまに
第31話

いよいよ
来週だねぇ
勉強合宿
あらまー
あらあら…
見事な
円形脱毛症だな
わざわざ
合宿までして
受験勉強ねぇ
前一向に勉強
勉強しようとも
勝わんが
買い物が
部活が
…てゆーか
もう勉強が
イヤ……
みんな
コレを
見て！

やっぱりね
珍しく髪おろしてたから
そんな事だろうと思ったわ
ともってば幼稚園から
嫌な事ある度に
円形脱毛症もわよねぇ
うぅぅ～～～
なんかここ新しい毛が
生えてくる気配
全然ないんだけど
まさか このままで
生えないって事は
ないよね？


…！
あ
もう一つハゲ
がばっ
ざく
え!?

出来てるの!?
出来てるのね!?
もうヤだっ!!
勉強と運動なんて
本当に無駄しかしないんでしょ!?
そんなん行ったらもっとハゲが出来て
このままじゃ薄武者みたいになっちゃうかも!!

大学なんて
あたしが
受かったら
奇跡なの
に……っ
はいはい
運試しなんて
なる訳ないから
大丈夫大丈夫
ヤダヤダ!
合宿なんて
行きたくない
つ!!
ヤダ
全然
きかなく
なったわ
あたしの話
メダパニ
ってる
からな
ねぇ
ともちゃん
うわあああん
確かに
もう一つ
増えてるけど
先にできた方には
ねぇ
ちゃんと
新しい髪が
生えてきてたよ
えっ
ホント!?
うん
ほら
ここ
触ってみて
!!
毛っ!
毛の
感触!
きっとね
後にできた方も
髪はちゃんと生えて
くるんじゃないかなぁ
ねっ
あきちゃんの
言う通りかぁ

うん
それとね
合宿のスケジュール
みてたんだけど
確かに勉強時間は
多いけど、その分
休憩も昔より
沢山あるよ
昼食後には
お昼寝の時間も
あるんだって
早朝の山でやる
ラジオ体操なんて
すごいさわやかな気分に
なりそうだね
最終日にはキャンプファイヤーもあるんだって
何だかちょっと一年の時の林間学校みたいだね？
楽しみだなぁ
夏の勉強合宿
うん
ちょっと楽しみになってきた
うん
楽しんでこようねー

むぎの言葉だとちゃんと届くのよねぇ
比べるな
むぎの アレは天然だから
！

いた
ん〜〜？
なぁに？
あついね 風に出して
ううん 何でも

あたしのコトより
って
どうしたの
コレ!?
わー
痛そー
大丈夫っ?
あっ
見えちゃってた
ねえ
痛くはないん
だけどね
上着で隠さないと
目立っちゃうねぇ
むぎ 肌白いから

今朝、早くあの場所に行ったら

檜山くんに怪我させちゃってないかなぁ

そこはもう

元通りになってた
まるで
何もなかったように
大分
早起きしたん
でしょうね
檜山が
片付けたのよ
先輩当で
あたしが浮遊堂に
来るの待ってた
くらいだから
そうですか
うーん…
片付けを
檜山くん
だけに
させて
しまったん
ですね
あら
いいのよ
一人で
やりたかったん
だから

え？

あたしの予想とこうね

"自分の行動の責任は自分が取る"

ああ見えてあいつ

律儀な男でしょー？

――ええ

本当に

それでも

1

はじめまして の方 こんにちは。

お久しぶりです の方 ご無沙汰して 申しました。

なんと まあ 一年ぶりですよ。

お仕事をちょっと休んでおりました が無事に戻りまして よやく④巻をお届けできました。

少しでも楽しんで頂けたらと思います。

せめて
お礼だけでも
言わせて欲しいもの

昨日
起きたコトを
田上くんに…
合宿って
三日もあるの？
ふん
退屈でね
ただの事務だし
もう慣れてるコトだけど
やっぱり
伝えて消えたいなぁ
言わないのは
独占してるみたいで
何だか
嬉しい
勉強ばっか
そうだねぇ
俺も
来年…？
受験仲間
なんだって

それに
きっともう
「当番たっけ？」
「行ってらっしゃい」
伝えても大丈夫――…
来年かぁ――
はぁ――
…田上くん？
妻カ
妻系だけだと
学生で
トノフクラス
みたいで
そんなに
勉強嫌いに
見えないんだ
ろ？
―そんなに嫌？
うん 嫌。

だって来年は
紬が学校に居ない
由上くん…
どうしよう

かわいい……

ついでに これも嫉。

なんで着てるの？
今日暑いのに
・・あの？
ん？
そんな貸り方したら・・
ひろがっちゃう
袖口

じゃあ
脱げばいい
カタ
ガチャ
ガシャ
カタ

こんな大きなアザ
見えちゃったのね…
これはちょっと…
はっ
恥ずかしい…
…
それどうしたの？
心臓に悪い…
やっとみれた
…し

…代わってあげたい
たっ
がみく
待って
そらて
離つちゃ

もうと
心臓に悪い
ガラッ
ビクッ
……ひ
檜山くん!?

えっ…
どっ…どうして
ここに？
ズッカ
ズッカ
ドキ
ドキ
バタン
あ
グラ
グラ
あぁ
ドスン
グラ
グラ
ああぁ〜…
大丈夫
檜山くん？
カタ
ー
ジ
ジ
ジ
ジ
え？
あっ はい
それなら
は？
「鈴蘭祠」ってのは
何処にある？

もしかしたら
今度はミシンとか
裁ちばさみとかも
貸しちゃうかも
ちょっと
待ってて
取って渡して
あげた方が
いいかもっ
はい
これです
ぴこ
ガラ
ほっ
橋山くんに
針とか
すごく危ない
気しかしない
ラーム
使い方
教えてあげた
方が
それより
手伝ってあげた
方が
ラーム

パシリだ
えっ
昨日のパツで今日一日、先生のパシリやらされてんだよ
先生…
それで休み時間ずっと居なかったのね
あ
人使い荒いぜあいつ
ったく
女は年取る前に遠慮つーもんをなくす
はあ
眉間にシワ

見慣れた
檜山くんだ――
助かった
どういたしまして
ピタ
お前 昨日
怪我してたのか
「ああ見えてあいつ」
「優しい男でしょー？」

大丈夫
これは
あたしの
責任だから
あたしより
檜山くんが
大丈夫そうで
良かったよ
昨日は
ううん 今朝も
ありがとう
ございました
礼は要らない
それより
俺の説明が必要か？

…どうして
田上くんなら
――いえ
お気遣いなく
――お邪魔したな
タン
あ
そうだ
まだ話せてなかった
あの田上くん
カタ
純

説明してくれる？

うん
その時 勢いよくふっけて
このアザができちゃって
空気が重たい
他は？
他に怪我はない？
椅子から足を滑らせて床に…？
うん 大丈夫だよ
庇ってくれたから 檜山くんが
庇ったって？

うん
申し訳ない
コトに
檜山くんが
下敷きになって
くれたの
軽傷される
ようなコトは
ないと思うんだけど
…
西上くん？
マズイ
え？
あの人
目覚めちゃった
かも知れない。
ぽっちゃりマニアに

え？？
な…なんでそうなるの？
忘れた？
何を？
俺が目覚めたきっかけ
きっかけ
はっ
階段で足を滑らせて落ちてきたぽっちゃりさんの下敷きになってその柔らかな感触への衝撃で覚醒したんでしょ
キッ
あ
そうでした
そうでしたね
田上くんは…
でも…
覚醒とかそんなコトにはならないと思うよ
何でそう言いきるの？
檜山くんはあたしを女子としてみてないもの
そんな人

今まで
田上くんだけだったよ
純は
どうして
そう無防備なの？
え？
自分が
男から女としてみられないって
どうして
決めつけてるの？
それは
だって
その体型だから？

何だかすごく…
田上くんに言われると
なんてだろ
うん
そうだねぇ
だって
田上くんは特殊だから
俺がいるのに？
「すげーな田上ってヤツ
よく つとまるよ」
「本橋のいや、無理
女だと思えねぇ
「性格悪くても あの体型じゃ

さっ
ごめんなさい
「好きだ」
どれだけ
そう言っても
俺の言葉は
緒の自信には
ならないのか

それは
そう
じゃあ
マニアじゃない
椎山くんの言葉
だったら？
え？

第31話／おわり

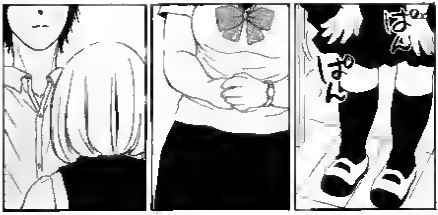
第32話

うぎ
うぎ
うぎ
うぎ

「あいつに
好きだって言われたら
純の自信になるの？」
あたしが…

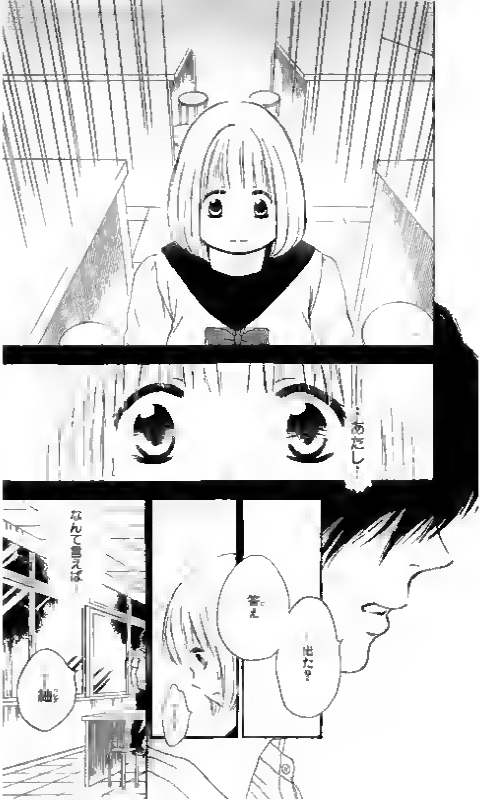
檜山くんに…？
さっきも言ったけど
そんなコトある訳な
ある

…そう思って
想像してみて
知りたいんだ
なのね…
田辺くん――…
そんなに


ぽ
ぽん

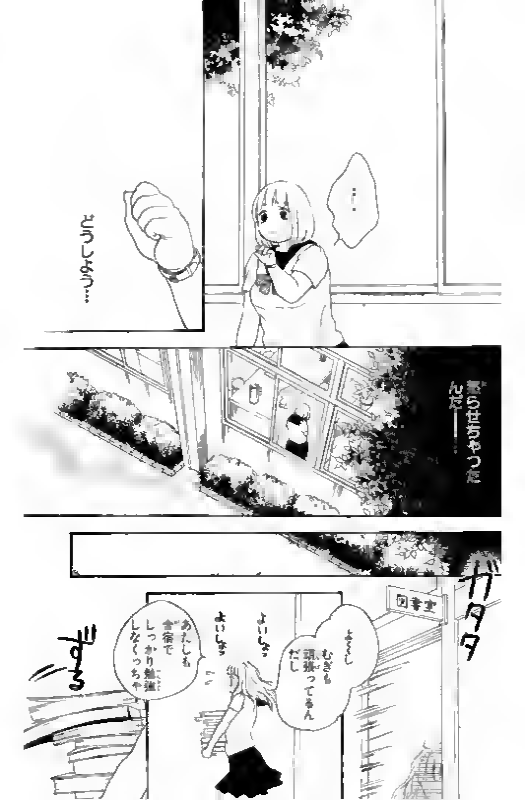
考えてみよう
ちゃんと――

椿山くんが
あたしを
好き……


…あたし…
出た？
答え
なんて言えば
納

答えなきゃ
でもどうやって…
多分これは…
いいよ

えっ？
もういい
ガラ
た
もう
考えなくていいよ


…
どうしよう…
寝ちゃうんだ…！
ガタタ
図書室
よくぐし
むぎゅ
頑張ってるんだし
よいしょ
よいしょ
あたしも
家で
しっかり勉強
しなくっちゃ
ヒソヒソ

バサバサ
あああっ
すべり落ちた～
なんか不吉～っ
大丈夫ですか？
せっ
誠司くんっ!?
この人
ああ 僕が絶完璧の
ほい
誠司です

笑ってる～
笑ってる～
名前
何だっけ
参考書ですか
そういえば
来週からでしたね
合宿
やっぱり
キレイな顔
してる～
ほぇ～
パチッ
とも先輩
だっけ？
ふにふに
ガン見
しちゃった
すいま
せんっ!!

この角度はもしかして
……

円形脱毛症見られちゃってないっ??
どーしよ
どーしよ。
どーしよ
どーしよぉ
あぁぁんないよぉ

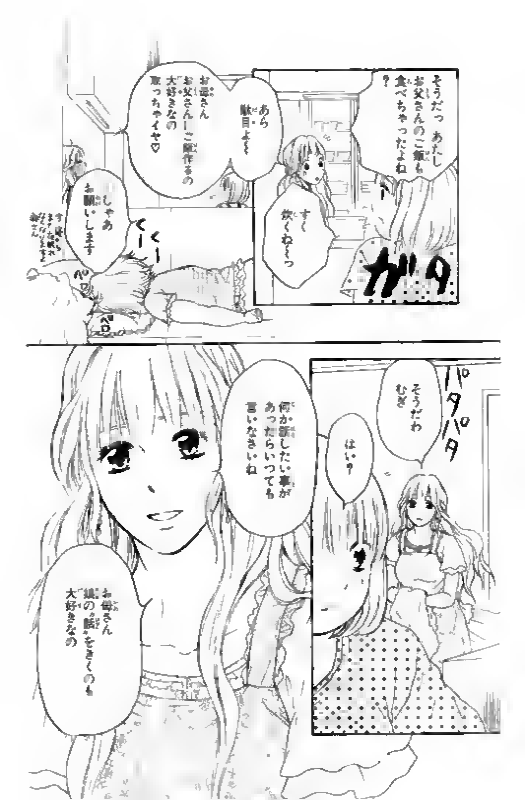
どーしよぉ

今日は
髪
おろしてるん
ですね
似合ってますよ

せっかく借りたけど
今日は読めないかな
？
？
合宿所は
緑し囲まれた
静かな処らしいです
楽しんできて
下さい
いえ
無理

誠治とこころしゃなくなったよぅっっ
心愛ってもっかぃ！
―やっぱり
追いかければよかった
き
むぎ
むーぎ
え？

「もう一膳おかわりする？」
えっ
おかわり？
あたし
おかわりしてた？
もうジャーが
からっぽよ～
から。
炊き込みご飯とお にぎりにして冷凍してるのがあるからいい？
それでもいいくらい？
うぅんっ
もう充分っ
ごちそうさまでしたっ
そーお？
おなかがぱんぱん！
どうして
あたしはこう
考えズにコトしてると
無意識に
食べ続けちゃうかなぁ～


そうだっ あたし
お父さんのご飯も
食べちゃったよね？
ガタ
すく
吹くねっ
あら
駄目よ～
お母さん
お父さんのご飯作るの
大好きなの
意っちゃイヤ♡
しゃあ
お願いします
パタパタ
そうだわ
むぎ
はい？
何か話したい事が
あったらいつでも
言いなさいね
お母さん
娘の話をきくのも
大好きなの

でも
肝心な自分は…
くー
くー

むぎは
一行さんに
そっくりねぇ
一人で
抱えこんでしまう所まで
カリ
カリ
カリ
少し様子を
みましょうか

何を言うの？
田辺くんに
嘘はつきたくない
言いたくない
だから
何も言えなかったの
…あ！
でも
1つだけ
分かったコトがあるの

「あいうえお作文」
好きな人の
名前の
あたしは
あなたに
心をあげられて
なかったんだ
田上くん……
いつまで
そうしてるの？

ウザイよ
ゆき

そうデスね
ったく
何を落ち込んでるのか
知らないけど
今更しゃない？
だって ゆき
純九章に
いつもウザイ事
してるじゃない
それとも

あの雪蛍の様な女を
踏らせるほどの事でも
したの？
…聡ったのは俺
欲しい「雪ちゃん」を
くれなかったから
ゆきが？
先輩を？
…何で？
「夜」ってる絵を
見てたら
なんか唐突に
結立ってきて
絵から離れた
あれ以上
一緒にいたら
多分
傷つけてた

そんな自分に
もっと腹が立った
バタン
ゆきってそんなに
"欲しがり"だった？
自分が喜ぶ人が
自分を喜ばせてくれる
そんな奇跡
誰にでも
起きる訳じゃ
ないのに

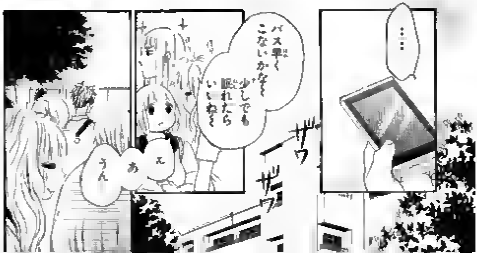
もしかしたら
幸跡って
より多くを望む愛は
少しずつ消えていっちゃう
ものかも知れないよ?
失くさない様に
どんなにしっかり
繋んでても
心外な
感情だな
ヤキモチって

バーカ
ただの贅沢な悩みだよ
お前のは
うん
せいぜい後悔しときな

あたしは
連絡出来なかった
田上くんから
連絡もなかった
今日から
3日間か
このまま
言も話せないまま

何日も
離れてしまうのは

もう起きてるかな…


…
バス早くこないかな～
少しでも眠れたらいいもね～
ザワ
ザワ
ザワ
あ
え
うん

くわぁ
ん
どうしたの？
しし
きみちゃん
今何時かな？
ん――
その腕の時計は
遅れてるのぉ？
はっ
時計してても
ちょっと聞けてみて
みぃ！
ごめんなさい

おもわず
目でおじぎやめ
おはよー
おはよー
——って
あき
髪
どうしたの
ばっさり
別に
何で怒ってるの
そろー
バスきたぞー
乗り込めー
ブオオ

タン
ブオオオ…

考えてみたの
あなたが
怒った
理由を
――田上くん

あなたはきっと
気付いてたんだよね

言えられないコトが
「言えない」なんだって
行ってらっしゃい
第32話／おわり

第33話

あ名前
呼ぶ
本当
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
初呼び

本橋先輩
話があるんですが？
それが

物語のような現実の
はじまりでした――
チチ
―何ていう鳥
なんだろう
チチ
チチ
チチ
―なんだか
不思議

夢の中にいるみたい……

今朝まで学校にいたのに
キーン
コーン

今日はあと2教科だね
のびー
よ～し頑張るぞ～

そろそろ
部活かなぁ

田上くん――…

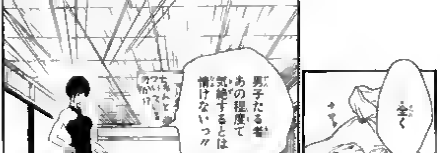
やれやれ
手がかかるね

……ふぁ
朝早すぎた
結局
遅わなかったけど…

「あいつに 好きだって言われたら 私の自信になるの？」
ぽふ…

待ってバ
ビュオ
この馬鹿者が――っっ!!!
ゴッ
カ

馬鹿だ　とは
理解していたが
よもやここまで
愚かだったとは
――っ！
ヒリ
その稚拙な根性
この娘が
叩き直して
くれるわっっ!!!!
ぱす
ぱす
ぬ…？


全く
男子たる者あの程度で気絶するとは情けないっ!!
ちゃんとカバンは持ってきたのか
…この中が俺…なんとOOが入れたら

綺さんと喧嘩したそうだな!!
ビシッ
!

その原因がお前の過剰な独占欲だと!?
ビシッ!!
…!

写生は無事に終わって食事に呼ばれて行った木原家で全て聞いてきた
ちょっと聞いてよまぁちゃん
綾さんが男の子と一緒に会ったの
一緒なの
嫉妬してくれたんだよ
彼女を守ったんだよ
男がいるわよねー
ねー
いいわ…
綾人

お前がこれほど
弟の小さい男に
育ったとは
父さんに
顔向けできんな
自分が
情けない…っ！
姉ちゃんの
せいじゃない
俺が
未熟なだけ
です
すみません
でした
こてっ

その言葉
純さんには
ちゃんと
言えたか？
いえ
馬鹿者が
私に言ってる
場合では
なかろう
今日
言おうと
したけど
まだ勘目
調整が
できてない
何の調整が
出来ない？
反重なら
幾分出来て
いきようだが
言わんか

あの人が好きな
気持ちの

成維
"好きすぎる"という事か
こんな表情もする様になったか
一度訊いてみたかった

幸也
お前は彼女とどんな風に出逢って
その気持ちがうまれた？
…はぁ？
あの子は美ゆかしだろうから
うむ
？
文藻を申し出たのはお前か？
え…何？
言われなきゃ自分なんし？
何だ？この紙には書えない事か？
ぐぃ
ゴゴゴ
いや書いたくないだけ？
剣に
珍しさなんて何もない

部活説明会？
高校入ってすぐの…
部活はもう決めてたから
テキトーにブラブラしてた――…
ぶつ
とん
あっ
すっ
いい
イケメンにぶつかってしまった…
すみませんっっ

もしかしたら

いないヒフミだな

よし できた

この先ずっと どこにも

はぁ

どさー
ああああ～～～
ボト
ボト
ごめんね～っ
今、戻すからね
カタリ
アゲ～
X
――それで
一目見て
好きになったと？
違うけどｗ
あ
好きな体型
ではあった
まずは
性癖が反応
したのか
ぐぬぬ
反射
まりも

ぐうぅ
はじめてだったから
あの体型であんな風に
笑える人
居ないものか
それほど？
腹の音を誤魔化す
開業さんかりだ
ぐうぅ
ぐうぅ
ほとんどの人が
いただきます
ぐうぅ

身体が重たくて
心から笑えなくなってる

無理もない
体型が原因で起こるコトは少なくなかったでしょ
それでもあの人は笑ってた
だから——

彼女を
尾行
してみた
もっぐ
……ほぉ？
もっぐ
新宝に滑り込んで
部活終了ー
尾行開始
ほぉ
放課後あの人の
全貌をクラスを
探り出し
休み時間等に
あの人の教室へ
聞きに行き
あの人の言動を
日々調査してた
もっぐもっぐ
!?
弟よ
それは『ストーカー』
という行為では
ないのか？
ただ
見てた
だけ
だけど
本当に
ぬう

他の人とは違うのか……
じ～
うぅ～さむっ 今日 寒くない？
そうだね 梅雨に入ったからたね
じ～っ
カーデもってくればよかった～
あ
こうすると寒くないかなぁ？
きゅう。
あたたかい むぎ湯たんぽみたい
ぬくぬく
よかった～
じ～
あたしね 冷え知らずでいつも体があったかいの

この体型のおかげだねぇ
あったかいのおすそわけできてよかった
いつでもきいてね
むきゅ

理解できたのだな？
あたしくらいは
あたしを好きでいよう
——って

それで交際を申し込んだのか
コポ
コポ
…いや？
その前に縁談はじめた
それは貴族行為ではないか？
弟よ？
確かに鈴さんは様々な点が良かったが
いよいよ父さんに願向けてきな
違う
ぬ？
様んでたのはこっち
最行の次に何をはしめたの？

きっもち悪いよゆき？
もみ
もみ
もみ
もみ
…我慢しろ俺
そう？なら夏休み中なのに毎日家に来てそうしてるのも我慢して
他にも
実際に触りたくなったのは あの人がはじめてなんだけどう
無り心地良さそうな人はそれなりにいたけど
臭れた
気付いてないんだ

？
思い切って
触ってみたら？
一即上は？

よいしょっ…と
いっぱいいっぱい
いやいやそれはどーなのっ
ぷるぷる
…んぐぐ
一気に持ってきすぎちゃったかなぁ
前が見えにくい
あっ

ふぅ
ふぅ

あ
あの
振り返らないで
はい
て
危ないから
このまま
登りきって下さい
そっか
はい
わっ
わかりました
んしょ
っっ
んしょ
っっ
んしょ

ふう
ありがとうございました
何とか無事
あれ？
もう行っちゃったのかな？
誰だったんだろ？

…何で
気付かなかったのか…

触ってはじめてわかった
…だから
どんな場合でも
他の男に触られるのは嫌だ…っ

お前は
自分の気持ちばかりだな
彼女の笑顔が好きならば
お前自身がその種になってやれ
それが
好きな女の心に触れるという事ではないのか？

逢いたい……

第34話

腕を大きーくあげて
くーんと背筋を伸ばーす
1
2
3
4
ふう
5
6
7
8

合宿所は
驚くほど静かで…
何だか
あまり眠れなかった
に囲まれて
いるからこそ
ろうか

寝不足
寝不足
寝不足

寝不足と良いわね
朝の体操って
もと寝てたけど
うんっ
体ほぐれた～
昨日は
一日中勉強
してたから
体固まって
たんだねぇ
動き足り
ない
寝不足がもれ

そりゃ
まみはね
ごすっ
んん?

何してんの
むぎ？
はっ
な…なんだか
急に眠くなっちゃって
食べすぎたから
かなぁ？
ここのご飯
美味しいもん
ね〜
わかる〜
…

コホン
ぱっ
駄目だね
せっかく
勉強しに
来てるんだから。
…でもね
まだちょっと
信じられないの
田上くんと
同棲をする日が
くるなんて……

出逢うた頃は

田上くんの
言動や性格に
戸惑いたけれど

それでも
不思議と
居心地が
良かったのは

田上くんが
あたしを
ずっと
肯定して
くれていたから

重いのが
いいんだよ

あたしは
そんな田上くんを
とてもとても
信頼しているの
ときどき
すっごく緊張もするけど
楽しくて
のんびりした
毎日を
田上くんと
過ごしてきたから……
だから
まさか
あたしが田上くんに
信頼されてないとは
夢にも思わなかった

浅間は無いねえ
田上くんは正しい人だから
「結の事は信頼してる」
あれは本当の気持ちだもの

でもどうしてなの
檜山くんとの関係だけ信用してくれないのは…
それでいい

そうよ悪い？
？
聞いてよ むぎ
あきこったらねー
彼氏と喧嘩したから
彼氏の大好きな
自分の髪を
切っちゃったんだって～
はえ
あいつくだらない事で
いつまでもくちゃくちゃ
言ってるから
あったまきちゃったの
でも髪ふったぎったら
落ちこんで一気に
静かになってたわ
すっきりした
あきちゃんも
あきちゃんてこ
最近多いな
喧嘩
過激の事で
ちょっとね

「やりすぎた」って顔してるくせに
場(ば)違(ちが)いしてごめんよー
嫌ってないわよっ
ねえあきちゃん
仲直(なかなお)りってどうやってするの？
っ
とう一って
やっぱりそうだったのか？
……
あたしも喧嘩(けんか)しちゃったの

「あいつに好きだって言われたら
絶の自信になるの？」

それは
あたしにも
わからないの

でも きっと

…田上くん

あの時

『嬉しい』

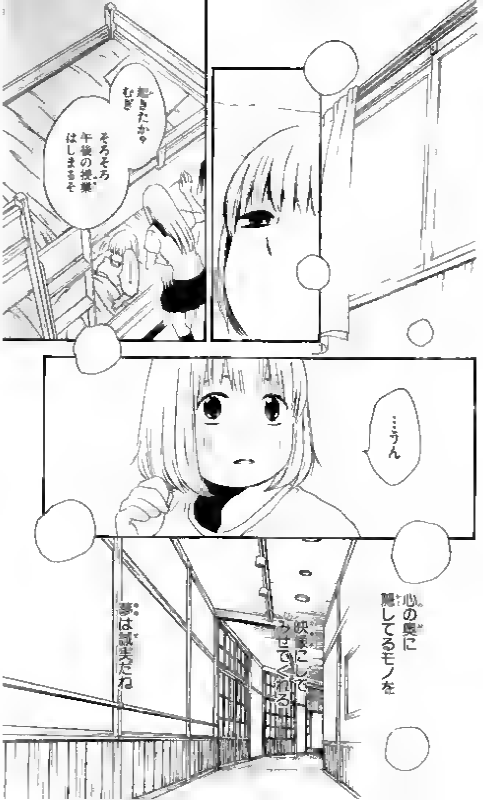
…だろうな…って

心の全てを
明け渡すコトを

あなたに頼んでいたのかな…？
でもその中だ
あなたにとっての凶器が残っていたら…？

だから
あたし……
ごめん…なさい
田上くん…
待って

行かないで…っ
ぶわ


起きたか？
むぎ
そろそろ
午後の授業
はじまるぞ
…うん
心の奥に
隠してるモノを
吹き飛ばして
みせてくれる
夢は試まだね

足下がふわふわする
ぼけてるのかなぁ
…こんなに心許なくなっちゃうのね

田上くんの傍にいれなくなると思うだけで――…
むぎちゃんだー
運動会だったよね 授業参観まるよ 行こーっ
あ
…わたし
いつの間にか
こんなにも田上くんに寄りかかっていたんだ…

：そうだよね

愛実が一緒になるコトもあるよね
嫉妬くらいはしてるんだろうねぇ
あいとこがなかったら
「絶の自信になるの？」
…そもそも
あたしの〝自信〟ってなんだろう…？

このままぼって
パラパラ
ふう
なんだか
よくわからなく
なってきたよ
ぷぷぷ

つかれたなぁ
ぴゃんけん
ぽーん
あぁぁ～
ぽーん
ゆうべは
すやすや
ねむれた？
ぐっすり
ぐっすり
む～ぎっ
な～にぃ～
ぽ～
そっち側を
きいたんだけど
なんか
この扉
…出ちゃうらしいよ？
扉の中を歩く
大きな扉を
目撃した子が
いるらしいわ
ぐい
ぐい
つーわけで

見つけに行くぞ
え〜〜？
え？
パチン
あらやだ結構雰囲気あるじゃない
ブルブルブルブル
なっなっなにも肝試しにしなくてもよかったんじゃない？？
目撃場所はどこだ――？
パチン
確かこっちだったわね
了解
くる

明るい時は包みこむように…
今は…
思い尽くすように
太分 様子が違うものだ
ねぇまみちゃん
ここ
ぼらん
あら…

はぐれちゃった
みたい
自撮場所ってどこだろう
こっちかな？
ケータイのライトじゃ見えないなぁ
ふぃ
まみちゃーん
ふぃ
あきちゃーん
ともちゃ
ぎゃあああ
ガサ
ともちゃん？
こっちの方からだったかな

あた〜っっ
どすっ
おふっ
た…
あれ
ごほっ
やっぱり
お前か…

檜山くん!?
えっ
はっ
いない
いない
よく見!
おしむきは?
あらやだっ
気分転換に
連れ出したのに
置いてきちゃった
のかしら!?
まずいな
ど

ずくくくく
どうしてここに…？
いつまでそうしてる？
ずしっ
はっ！
失礼しました
がばっ
えーと
このままお立ちなのは人として良くないから
どうしよう…
むくり
重かったよね
ごめんなさい檜山くん
重かったばり
どきっ
また
はつきりと
ー

でも
思ってる程じゃねぇ
気にすんな
顔が
よく見えない
からかなぁ…？
こうしてても
少し気が
楽なのは…
…藤山くんは
こんな暗い所で
何を…？
意外と
温度は人の気配が
多すぎて疲れねぇ

もしかして
昨日も？
あぁ
大きな動く影の正体って椿山くんなんじゃ…
お前も寝ろ
え？
ここに横になれ
え…？

いいから
黙ろ
くわわ
ひっ
はいっっ
な…
なんだろう…
■は
閉じてろ
え…
閉じろ
はい
ギロ
…
なんだろう〜??

――いいぞ
目ェ開けろ

ごめん…
きれい…

この星
あたしたちの住んでる所でも見えるのかな？
明かりの量が違いだ
見えてるけど見えねえな
そっかぁ
空にあるのはかわらないはずなのにねぇ

難しい事は
考えるな
今は
空を見てろ

そうだね
もったいないものね…
目の前に広がる空があまりにも綺麗で大きくて
そんな空にこまれていたら
あたしのキライなコトなんてどうでもよくなっちゃった
この空を
あなたにも見せたいよ
田辺くん……
ねぇ
どこなの？
たなべくん？

ガサッ
声がきこえたの
どうか少しでも
呼んでくれてありがとう
あなたの見てる空が
晴れていますように

第35話

翌朝
目が覚めると

空には
一面の青が
広がっていた

あたしは
なぜかそれを

あの人と一緒にみていた…
森の中で迷子になった女の子を見つけ出して
仲間の所まで連れてきてくれるなんて
檜山っちってばヒーローみたいっ
頼が怖くてびっくりばっかだけど実は不器用なだけでホントはすっごい優しいヒーロー？みたいな？
HIYAMAN
H
こてこて
たよれる～
ミうん
すごく助かったよ～
たよれるんだからぁ～

どぐん
ビク
イズッ次郎
ヒーローと呼ぶには強面過ぎるわね
そ、そうかなぁ
とうとうヤバいレベルキター
全身タイツあイメージ!!!
なかなかいいヤツね
あれしゃあ
ヒーローといえば全身タイツよね
衣装も帽がって
近付かないんじゃないかしら
なんにせよむぎを見つけてくれてほっとしたわ
榎山、見た目に反して
なかなかいいヤツね

それに比べて
椿山くん株
急上昇みたい
見た目だけは
最高レベルの
むぎの本来の
ヒーローは…
★5!!
ガチャ率2%!!
的なレベル
なのにねえ…
TAGAMI YUKIYA
めんどくせぇ
ゴゴ
ゴゴ

「横山に好きって言われたら嬉しい自慢になるの？」
依吉
どうよ
依吉
〈告白された場合を想像してみて？〉
くる
さぁ
依吉
もうだめ
あばよ
モーモノマネだよ本？
ズサ
ゴゴゴゴゴ
めんどくせえええぇ
まるで
駄々こねる
子供だ

「噂」しちゃったのかな
いくら悩んでたからって…
変な伝え方しちゃったのかな…
こらまみ そんなはっきり言っちゃ駄目よ
ちょっとあき それ認めちゃってない!?
それも駄目しゃない!?
そういうとこもな
あたし 田上くん株急降下させちゃったかなぁ
はっ
でもほらっ「手間のかかる子ほどかわいい」って言うよねぇ

それを言うなら「勇気な子ほど」よ
ガーン
ラモール
あれっ!!
萬能な上に両上は精神が子供+宝顔だからな
なぜ怒むか?
もみ
もみ
もみ
"かわいいじゃもう済まないだろ
やっぱりめんどくせぇ
いや
そこに絶が加わったら
うざいな
それは思ってても言っちゃ駄目な事よ
ニヤ
おもー
だからそれ認めちゃってるってば
ー ー
!!!!

ふぅ…
むぎゅ。
なんだか
猫のやりとりが
おかしくて…
"娘"ってないの～？
同上の事
だいぶディスっちゃったけど・・？
あのね
言われてみればね
あの時の同上くん
ちょっと似てたなぁって
うちの庭の機嫌が悪い時に
ダダダダダダダダ
やだ！
よっぽど
くんなきゃ
しないと
やだー！
猫様現と同レベルか…

まだ小さい妹には
動くをこねるのは気持ちを伝える方法の一つだと思うから
分かってあげられるようによく見ておこうと思うの
"でもね『困ったなぁ』って全く思わないか
って言ったら嘘になるよ?
だけどどんな時でも
気付いたらあたり前のように向きあっちゃってるんだよね
やっぱり大切だからだね

そんな人に逢えて
あたしは幸運だよ

だから
頑張りたいの

2

飲みモノのお話

お仕事している時はいつも何かしら飲んでます。最近はあたたかい麦茶がお気に入りです。香ばしくて水筒に入れて冷蔵庫に入れておいたり。

白湯もおいしいですへ。朝は白湯です。

体調の時は豆乳です。ちょっとだけココモを入れてあったかく飲んで。豆乳やほんのり甘くておいしいのですよ。

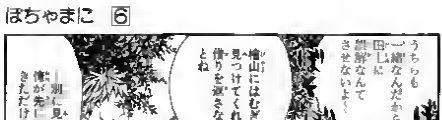
なぁ むぎ
ん？
一度 訊いて みたかったんだが
むぎは権山を どう思ってるんだ？
まみちゃん？
疑っている訳じゃない
紬の田上への気持ちなら充分わかってる

でも昨日の夜
それまで
うわの空だった
むぎが
ちゃんと
笑って
帰ってきた
だから むぎの
椿山への気持ちを
知りたくなった
…あたしの

檜山くんへの気持ち
あれー
きみは？
ミミ
ミミだよ
あうん
ちょっと担任の所に
じー
ん？
どうした
はっ！
ごごごよ
「むぎは檜山をどう思ってるんだ？」
あだし
檜山くんにどんな対応してるんだろう…？

まみちゃんにまで
勘ぐられるなんて
ラーーーん
少女くんと
田上くんとは
実際どうっと
聞かれたけど
あ…
だってね
一緒にいて
あんなに
素直で
あんなにも
安心する人
他に
誰もいないもの
友情
なのかなぁ？
今まで男の子と
友達でいたコト
ないからなぁ…
どうゆう姿だら
男の子と友達で
いるんだろう？
ラーーーん

あたしは
檜山くんを…
おかえり
まみちゃ…
あれ？
ぼっちだったから連れてきたわ
ぎゅ
ぎゅ
ひょこ
ひょこ
キャンプファイヤーでぼっちなんて檜山っちが可哀想でぇ


うちらも一緒なんだから田仁に誤解なんてさせないよ！
檜山にはむぎを見つけてくれた借りを返さないとね
別に見つけてねぇぞ俺が先に居たら本橋がきたけ！

そんな大きな図体で誰にも気づかれないのはむぎ
ばっ

なんだか奇妙なコトに…
檜山って身長何センチくらい？
檜山さん？
服のサイズあるの？
靴とか帽とか頭とか
サイズはあるけど
でもなんだか…

そうそう バイクって どこに 隠してるの？
黙秘ね
そうだ いつも 転んで 頭ぶつけてるけど 頭 大丈夫？
優しい…な
櫛山くんの 男に 魅力がいるのが―
ギロ
俺は正気！
ああ？
こう
唇間のシワは 止めなきい
にょーん
のび
ああ？
ひっ
そうよ…
頭ゃぁてなけ!? だもん 意味って 意味
そんな顔してても いい人だって わかっちゃったんだから～
でもちょっと 怖かった―

嬉しい

フォークダンス
申し込まれてるわね 女子に

あっ

まみだ～

乃莉ちゃんもそうだね
ずっと前から
お願いします!
あっもちろん!
よろしくお願いします!

あはは
あたしも
申し込んでこよ～
♪
♪
あたしは
(まみの運動音痴を)
陰ながら見守るわ

なんなんだ
あいつら
ったく

なんなんだ
その笑顔は？
青山くんがあたしの友達と一緒にいるのが
嬉しいの
こういう気持ちを

あの人に
伝えられるかなぁ
あたしの口は
この
儚い
…逢いたいなぁ…
そんな
あたしを

取り繕わず
正直に――
むぎ
ともが
呼んでたぞ
あ
うん
えーと
うん
あたしが
相手になろう

檜山と話すのは初めてだな
多分な
実然だがあんたに一つ訊きたい
あ？
自分がどんな表情で
紬を見てたか自覚してるか？
相当本橋と美い仲なんだな
お前

おせっかいを
焼くくらいはな
ったく
末端の俺が
いる間は
どっちもこいつも
めんどくせえ
別にあんたが
どう思おうと
構わねえよ
俺は あいつが
笑っていられるなら
それでいい

それが俺の答えだ
……
成程
よく分かった
この姿が消えたら

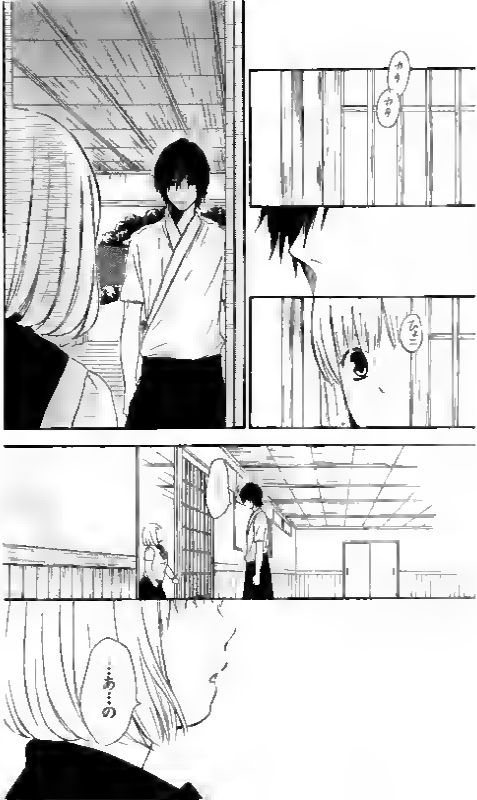
朝がくる

そうしたら

やっと
あなたに――…
ハルハル

ギュッ
ブルルル
…もう
帰ってる時間
だけど…
負けるな！
ゆうじ！
がんばれー！

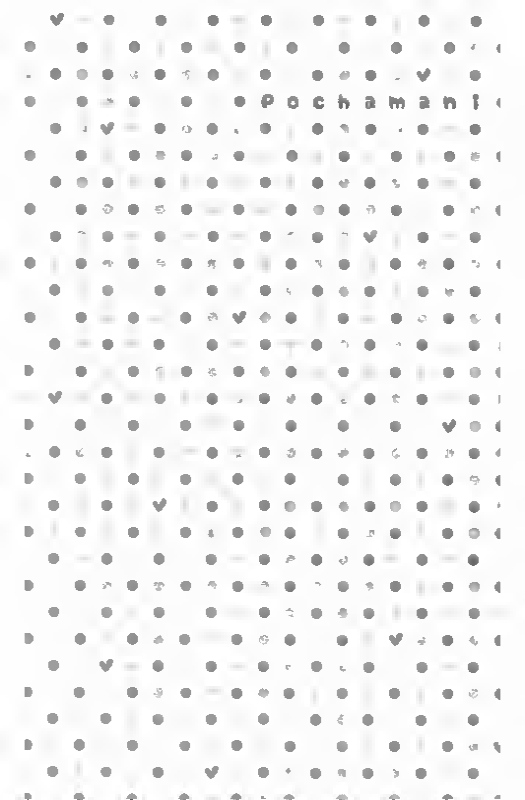
でも
なんだ…
キッ
〈3
「お前は
自分の気持ち
知りたくないか」


カタ
カタ
なに
…あ…の

まだ
ここに
いるような
気がして…
…田上くん…
…ただいま

…おかえり…

ただいま…
田上くんだ…


Pochamani

平間ゴム

ぺこ

はじめまして
平間ゴムです。

髪をばっさり
切りましたら
洗髪がらくちんで
感動しました。

この巻の
表紙の中に
花とゆめが
別冊花とゆめに
おじゃまし
しました。

本誌共々
何卒よろしくお願い致します。

それにしても

ちょっと
もう少し
大人に
なりな?

こんな感じですが

ずん

ご感想がありましたら
また次巻で
お書いできたら
嬉しいです。
ぼちゃまに感想を
書いて下さって
ありがとう
ございました!

甘やかしてはいけません

平間夏

Special Thanks

あーちゃん　宮さん　さわさん

T垂様　T田様　UC様
花とゆめ編集部の皆様
担当様
別冊花とゆめ編集部の皆様
この漫画の制作に関わって下さった全ての方

そして
今読んで下さっている
あなたに

心から感謝を

2016. 1

平門要